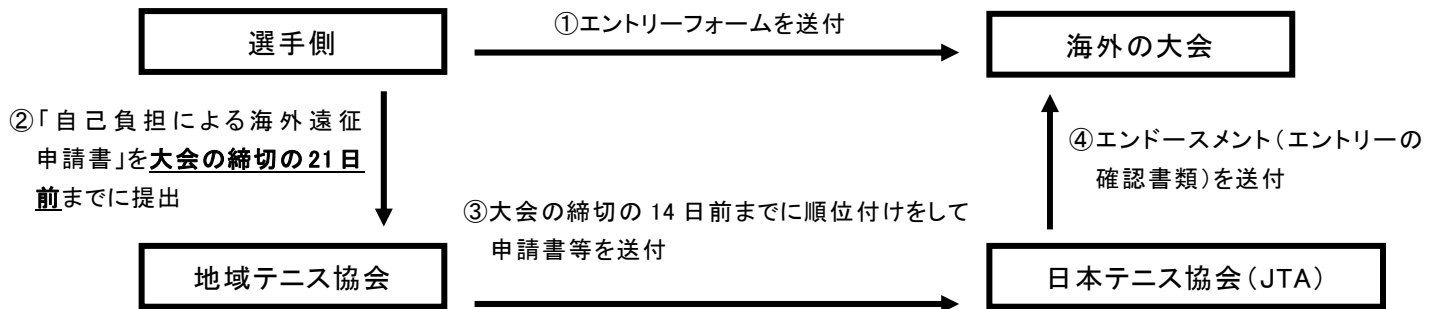


# 自己負担による海外遠征の手続きについて(2007年12月改訂)

(財)日本テニス協会 強化企画委員長 西村 覚

## \* ITF ジュニア大会のエントリーはJTAの承認が必要です！！

エントリーフォームの送付、宿泊や送迎の手配等は、選手側から直接大会に連絡を入れて下さい。また、エントリーフォームに、「Endorsement by JTA will be followed after this entry.」(JTAからのエンドースメントは後日送られます)という一文を必ず入れておいてください。大会はエントリーフォームを「とりあえず」受領してくれるはずですが、エンドースメントのないエントリーについては大会側に受け付けられませんので、必ず申請書を期限内に提出して下さい。



## 《エントリーの手順》

- ファクトシート(大会要項)をウェブサイト等から取り出し、エントリーフォームを作成し、大会に送付して下さい。
- 「自己負担による海外遠征申請書」と大会に送ったエントリーフォームのコピーを自分の所属先の地域テニス協会に、**大会の締切の21日前**までに提出して下さい。所属先が海外の場合はJTAに直接、大会の締切の14日前までに提出して下さい。  
**※締め切りを過ぎた「申請書」は一切受け付けられません。**エントリーフォームのコピーは後日でも結構です。
- 地域協会はJTAに大会の締切の14日前までに参加者の順位をつけて申請書等を送付して下さい。
- JTAは申請書と地域協会の順位付けに基づいて全員の順位付けをし、エンドースメント(エントリーの確認書類)を大会に送付します。  
※JTAの順位付け: ①ITFジュニアランキング②地域協会の順位付けをもとに行ない、①と②で順位付けができない場合は申請書に記載された戦績等を参考に行ないます。

## 《ウィズドロー(棄権)について》

ウィズドローは決められたフォーム(全ての大会で共通です)を地域協会から取り寄せ、直接大会に送って下さい。ただし、そのコピーを地域協会に必ずFAX等で送って下さい(アクセプタンスリスト確認時に、ウィズドローしているのか、名前が漏れているのかが判断できないため)。地域協会は届いたコピーをJTAにFAXで送って下さい。  
また、ケガ・病気・親族の不幸以外の理由でウィズドローをする場合、本戦選手は大会本戦初日の14日前まで、予選選手はサインインまでに直接大会のディレクターに連絡しなければサスペンションポイントが課せられ、一定に達すると出場停止の処分が課せられます。

## 《ファクトシート(大会要項)、アクセプタンスリスト(選考結果)等について》

ITFジュニアのウェブサイト等から取り寄せて下さい。また、JTAに届いたものは地域協会に転送しますので、地域協会から取り寄せて下さい。地域協会に届いていないものは大会側から直接取り寄せて下さい。

## \* エントリー、ウィズドロー、アクセプタンスリストの確認等は選手側の責任です！

「自己負担による海外遠征申請書」を提出した後でも、地域テニス協会・日本テニス協会への確認、大会へのエントリーやウィズドロー、アクセプタンスリストの確認をするのは選手側の責任です。

## \* ITF ジュニア大会(海外・国内)に出場するには ipin 登録が必要です！！

2008年1月1日より国際テニス連盟(ITF)では、ITFジュニア大会の参加選手全員に ipin 登録を義務化することとなりました。登録料は年間20ドルで、2008年の最初に出場する大会のサインインまでに登録しておく必要があります。登録手続きはITFのウェブサイト(<http://www.itftennis.com/IPIN>)で可能ですが、クレジットカード(保護者のものでも可)が無い場合は、最初に出場する大会で支払うことも可能です。エントリーフォームには ipin 番号を記載して下さい。すでにプロサーキット(賞金大会)に参加するために ipin 登録をしてある場合は、その番号が使えます。

## ※ITF ジュニアサーキットに関する情報は

ITF ジュニアのホームページ(<http://www.itftennis.com/juniors/>)で確認して下さい。